

# 第65回定期大会 特集号

# 建設長崎

August  
No.542

2010年8月15日  
1部20円 組合員の購読料は組合費に含まれます  
印刷 (株)昭和堂 TEL 095 821 1234

発行 長崎県建設産業労働組合 〒852 8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095 862 7121 FAX 095 862 5281 http://www.kensetunagasaki.org/ 発行責任者 北村政和 編集人 田上一郎



## 第65回 定期大会 7月17日~18日

# 組合結成六十五年の歴史を糧に 未来の活路を切り拓こう!

「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう」のスローガンで、建設長崎第六十五回定期大会が、七月十七日、十八日にかけて雲仙・小浜勤労者体育センターで開催。大会には、執行部、代議員、特別代議員、来賓、書記局など二八四人が出席。

はじめに、本部執行部を代表して相川委員長より「昨年八月に劇的な政権交代が実現し、大きな期待をしましたが、まだまだ建設業を取り巻く情勢は厳しいものでした。そんな中、組織強化拡大の取り組みでは、五支部が年間拡大目標を達成することが出来ました。今年には六十五回の節目の年です。皆様には新たな目標を掲げて第一歩を踏み出せるように、活発な議論をお願いいたします」と挨拶がありました。

続いて、来賓の方々から、全建総連の山下組織部長をはじめ、労働団体、各政党より挨拶を頂きました。

組織拡大表彰では、個人の表彰、支部としては年間拡大目標達成の浦上東支部・東長崎支部・平戸支部・諫早支部・北松支部が

「その後、今年の五月に開催された建設長崎青年技能競技大会の上位三名の紹介があり、九月に開催される全国大会への決意を表明しました。午後からは、平成二十一年度活動経過と会計決算報告、そして平成二十二年活動方針(案)、会計予算(案)について執行部より提案。また、特別議案として来春の県議選争闘方針(案)を承認決定しました。

大会二日目は、三つの分科会に分かれて一日目に提案された運動方針(案)、会計予算(案)について活発な討議が行われました。午後からの、本会議は本年の「スローガン」①組織強化、②〇〇〇名を拡大、③年間三三〇名を拡大、④分科会を推進し、ふれあい行動で分会の内部強化を、⑤お得意先回り住宅ローンを通じて、仕事確保を、⑥建設技能者が尊重される社会づくりをめざし、若年技能後継者の育成と技術技能の向上を、⑦賃金・工事単価の引き上げ運動で、労働条件改善を、⑧組織の総力を



大会三日目は、三つの分科会に分かれて一日目に提案された運動方針(案)、会計予算(案)について活発な討議が行われました。午後からの、本会議は本年の「スローガン」①組織強化、②〇〇〇名を拡大、③年間三三〇名を拡大、④分科会を推進し、ふれあい行動で分会の内部強化を、⑤お得意先回り住宅ローンを通じて、仕事確保を、⑥建設技能者が尊重される社会づくりをめざし、若年技能後継者の育成と技術技能の向上を、⑦賃金・工事単価の引き上げ運動で、労働条件改善を、⑧組織の総力を

最後に、新役員を代表して相川委員長の力強い団結が、三唱で二日間の大会を締めくくりました。

結果として来春の統一地方選挙に勝利しよう。等を採択しました。

続いて、北村青年部長が大会宣言(案)を読み上げ「組合員が固く団結し、新たな運動と組織の発展、多様な社会情勢を見極めて組織の展望を切り拓くためにも、来春の統一地方選挙に完全勝利し、諸要求実現に向けて力強く推進しよう」と宣言しました。



国鉄労働組合 長崎地区闘争団团长  
櫻本 英俊



県議会議員  
吉村 庄二



連合長崎副会長  
明石 佳成



衆議院議員  
高木 義明



全建総連 組織部長  
山下 正人

### 来賓紹介 (出席者)

定期大会出席者	
大会代議員	120名
出席代議員	114名
委任代議員	6名
特別代議員	43名
青年部	13名
主婦会	30名
執行部	58名
書記局	41名
合計	256名
来賓	26名

- 全建総連 組織部長 山下 正人
- 全福岡県建設労働組合 執行委員長 堤 隆男
- 佐賀県建設労働組合連合会 執行委員長 水田 実
- 佐賀県建設労働組合連合会 副委員長 小林 博文
- 長崎県労働組合連合会 連合会長 明石 佳成
- 長崎県労働組合連合会 事務局長 坂本 浩
- 長崎地区労働組合協議会 議長 平野 忠司
- 長崎県労働者福祉協議会 事務局長 榎田 憲一
- 九州労働金庫長崎本部 本部長 中崎 幸夫
- 全労連長崎本部 理事長 高石 哲夫
- 全労連長崎本部 専務理事 川口 孝
- 長崎県建設労働組合 取組部長 水戸 孝己
- 長崎県建設労働組合 専務理事 葛屋 勇
- 長崎県建設労働組合 専務理事 櫻本 英俊
- 国鉄労働組合長崎地区闘争団 団長 金三三智郎
- 建設長崎 常任顧問 前田 富雄
- 建設長崎 顧問 高木 義明
- 民主労連長崎支部連合会 代表 福田 入りこ
- 衆議院議員 高木 義明
- 衆議院議員 宮島 大興
- 前参議院議員 犬塚 直史
- 参議院議員 大久保 潔重
- 山田正彦衆議院議員 末竹 和行
- 社会民主党長崎県連合代表 吉村 庄二
- 長崎県議会議員 楠 大典
- 長崎県議会議員 池田 章子
- 長崎県議会議員 野口 達也
- 長崎県議会議員 田添 政雄
- 長崎県議会議員 松崎 鈴子
- 佐世保市議会議員 早稲田 矩子
- 佐世保市議会議員 速見 篤
- 佐世保市議会議員 早田 博信
- 佐世保市議会議員 川原 敬幸

# 第六十五回定期大会(要旨) 執行委員長あいさつ



執行委員長あいさつ

税引き上げ発言などで、七月十一日の参議院選挙は、民主党が惨敗しました。私たちが推薦し、公契約法の法制化を期待していた、選挙区の犬塚ただしさんまでもが、落選の憂き目にあい、残念でなりません。比例区では、社民党公認の吉田忠智さんが当選しました。

昨年八月三十日の第四十五回衆議院総選挙では民主党が三〇八議席を獲得し、日本の歴史に残る劇的な政権交代が実現しました。長崎選挙区では、建設長崎が推薦した、四人全員が当選しました。

政権が誕生しましたが、鳩山総理のたゞ重なる発言や「政治とカネ」にまつわる問題、米重普天間飛行場移設問題で、社民党が連立政権を離脱するなど、支持率は急落、鳩山首相は、小沢幹事長を道連れに六月二日に辞意を表明しました。

そんな中であって、せめてもの救いは、昭和六十一年の国鉄・分割民営化で、国労組合員の仲間たちが、採用差別を受け、一〇六七人が、裁判で争ってきた「R不採用事件」は、二十三年の歳月が経過、今年に全面解決したことです。

六月一日には、全建総連を否定するものです。また、平成二十二年度の政府一般会計予算は九十二兆二千九百九十二億円で、昨年より、三兆七千五百一十億円の増額となり、成立した予算の新規国債発行額は、四十四兆三千億円で、国債依存度は四十八%と過去最高になりました。

「その補助金は政治的影響力によって確保している」とするもので、私たちの国保組合が、紛らわしい呼称の団体と同一に見られ、誤解されやすい報道でした。内容的には、補助金削減の狙いと国保組合の運営努力

「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう!」、そしてサブスローガンには、「組織の総力を結集して、来春の統一地方選挙を勝利しよう!」にさせて頂きました。

「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう!」、そしてサブスローガンには、「組織の総力を結集して、来春の統一地方選挙を勝利しよう!」にさせて頂きました。

「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう!」、そしてサブスローガンには、「組織の総力を結集して、来春の統一地方選挙を勝利しよう!」にさせて頂きました。

「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう!」、そしてサブスローガンには、「組織の総力を結集して、来春の統一地方選挙を勝利しよう!」にさせて頂きました。

## 大会諸役員(敬称略)

### 大会議長



方山栄治(大浦支部)  
天羽靖雄(佐世保東)



前田選挙管理委員長



中村大会運営委員長  
兼 資格審査委員長

### 第二分散会報告



議長 古川 勝(浦上西)  
議長 塚本芳美(佐中)  
議長報告 若杉孝雄

### 第一分散会報告



議長 内野幸雄(中央)  
議長 高谷義信(諫早)  
議長報告 西平博之

### 大会書記



森 一公(協会担当)  
立野靖也(大村担当)

### 第三分散会報告



議長 尾崎由盛  
議長 須藤輝久  
議長報告 佐藤圭介



「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう!」、そしてサブスローガンには、「組織の総力を結集して、来春の統一地方選挙を勝利しよう!」にさせて頂きました。

「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう!」、そしてサブスローガンには、「組織の総力を結集して、来春の統一地方選挙を勝利しよう!」にさせて頂きました。

「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう!」、そしてサブスローガンには、「組織の総力を結集して、来春の統一地方選挙を勝利しよう!」にさせて頂きました。

「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう!」、そしてサブスローガンには、「組織の総力を結集して、来春の統一地方選挙を勝利しよう!」にさせて頂きました。

「組合結成六十五年の歴史を糧に未来の活路を切り拓こう!」、そしてサブスローガンには、「組織の総力を結集して、来春の統一地方選挙を勝利しよう!」にさせて頂きました。

## 祝電・メッセージ(順不同・敬称略)

- 長崎県産業労働部 上村 昌博
- 民主党長崎県支部連合会 高木 義明
- 衆議院議員 農林水産大臣 山田 正彦
- 衆議院議員 福田えりこ
- 衆議院議員 宮島 大典
- 長崎県議会議員 橋本 希俊
- 長崎県議会議員 山田 博司
- 長崎県建設産業労働組合 竹下 一男
- 長崎市長 田上 富久
- 諫早市長 宮本 明雄
- 大村市長 松本 崇
- 島原市長 横田修一郎
- 南島原市長 藤原 米幸
- 雲仙市長 奥村慎太郎
- 松浦市長 友広 郁洋
- 平戸市長 黒田 成彦
- 時津町長 平瀬 研
- 長与町長 葉山 友昭
- 衆議院議員 川越 孝洋
- 全建総連北海道建設労働組合連合会 松島 磯巳
- 秋田建築労働組合 佐藤 正治
- 山形県建設労働組合連合会 三浦 一男
- 福島県建設労働組合連合会 遠藤 安男
- 茨城県建築連合会 古澤 昌之
- 群馬県建築業組合連合会 小田桐傳吉
- 建設埼玉 山崎 光夫
- 埼玉土建一般労働組合 鈴木 稔
- 千葉土建一般労働組合 須木 時夫
- 全建総連東京都連合会 渡邊 守光
- 神奈川県建設労働組合連合会 内藤 勝義
- 山梨県建設組合連合会 深澤 俊雄
- 長野県建設労働組合連合会 関 勝
- 全建総連岐阜建設労働組合県本部 嶋田 繁
- 全建総連静岡県建設労働組合 伏見 千歳
- 滋賀県建築組合 山田 正巳
- 全愛知建設労働組合 美濃辺大道
- 全京都建築労働組合 田辺 正男
- 大阪建設労働組合 関谷 英雄
- 兵庫県建設労働組合連合会 貴田 博明
- 奈良県建設労働組合 中嶋 弘
- 奈良県建設業振興会 栗山 司
- 和歌山建設労働組合 波多野和美
- 鳥取県建設労働組合 渡辺 行雄
- 鳥取県建設業組合連合会 桑田 忠義
- 岡山県建設労働組合 石部 明
- 広島県建設労働組合 安元 弘道
- 建設山口 田村 豪勇
- 徳島県建設労働組合 笠木 隆男
- フレッゼ 小泉 栄昭
- 香川県建設労働組合 中西 孝司
- 高知県建設労働組合 杉本 義忠
- 福岡県建設労働組合 下川 一雄
- 全福岡県建設労働組合 堤 隆男
- 熊本県建設労働組合 楠元 繁芳
- 大分県建設労働組合 長濱 泉
- 宮崎県建設労働組合 中川實二郎

# 新役員紹介

副執行委員長

高谷 義信 (諫早支部)



執行委員

田崎 義光 (諫早支部)



執行委員

里 澄宏 (東長崎支部)



執行委員待遇(青年部)

村上 昌也 (諫早支部)



執行委員

石橋 洸 (西彼支部)



執行委員待遇(主婦会)

馬場 ヒロ子 (中央支部)



## 第六十五回定期大会 分散会で出された主な意見・質問等(要旨抜粋)

### 【組織対策について】

人間ドックやメンバーズカード等組合に加入してこそ、できる事をもっと知らせしてほしい。  
支部の組織再編は以前検討委員会でも提案されたが今後どのような考えをもっているのか。  
七十五歳を境に組合を脱退しないといけないと思っ

### 【技術・技能対策について】

脱退防止について、脱退慰留の取り組みとして、仕事不足の厳しい現状の中で未納脱退者が多い。未納者への援助などはできないのか。  
本部青年部大会が時津コ

### 【上部団体との共闘】

上部団体共闘について平和センター、中連懇はどんなことをしているのか。仕事確保につながっているのか。県平和センターに加入し

### 【仕事対策について】

小規模改修工事の詳しい資料はないのか。どれくらい助成しているのか、内容を教えてほしい。  
職業訓練について短期課程で、二級土木施工も行ってほしい。  
大村の学院運営について

### 【社会保険対策について】

高齢者医療制度と国民年金について不平等との質問がありました。  
【教育対策について】ホームページの活用について検索方法などを事務所等に掲示するなどアピールしてほしい。  
【政策要求・政治対策について】

### 【政策要求・政治対策について】

県議が必要なのか。県議がいないと建設長崎は運営できないのか。県議の実績を組合員にわかるようにしてほしい。  
長崎市内の組合員が減少した中で大変厳しい情勢での戦いとなるが予想されるが、万一落選した場合、誰が責任を取るのか。  
【予算について】

### 【予算について】

青年部の予算が主婦会と同じ。青年部にもっと予算をつけてほしい。  
組合費回収のみの脱退防止策しかないのか。滞納の回収だけでは、心のない脱退防止にしか思えない。  
加盟団体が多すぎで、無駄なお金が多すぎ。もう少し絞れないのか。  
青年部の大半が職人であり就労条件が厳しい中にも運動や会議等に参加しようとする努力している。青年部大会での交通費や食事などの配慮を行っていただくと、予算の執行率をあげていただきたい。

# 大会宣言

## 組合結成六十五年の歴史を糧に、未来の活路を切り拓こう！

私たちは、ここ雲仙の地に於いて建設長崎第六十五回定期大会を開催しました。

そして組織拡大、仕事確保、社会保障の拡充を中心とした新年度の運動方針を決定した。

昨年夏の衆議院選挙により政権交代が行われ、鳩山連立政権が誕生しましたが、わずか九カ月後

には鳩山首相が退陣し、新しく菅内閣が発足しました。公共事業費が一八・三%減という過去最大の抑制と減少し続ける住宅着工戸数、下がりがつづける設計労務単価は、私たち建設労働者の生活を日々危機的な状況に追い込んでいます。

過去最大と言われる年間二十万人もの建設従事者が倒産や廃業等で減少、熟練技能者若年技能後継者の不足と建設産業の疲弊と荒廃を招いており、魅力ある産業への転換が

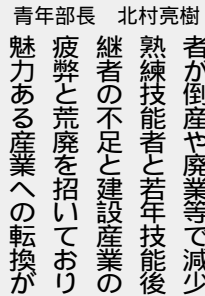
急務と言えます。

近年、住宅市場はリフォームの時代へと変化し、国は「量から質」への転換を図り、建設業界の環境もめまぐるしく変化を促しています。

リフォーム助成制度の創設を県・市に対して要請行動を展開するとともに、地域に密着した住宅デー活動で仕事を確保し、技能後継者が育つ環境づくりに邁進していきます。

そして組織拡大で仕事と生活を守り、全国の仲間とともに、「生命と健康」を守るために不当な新聞報道に屈することなく各種運動を通して、長建国保の育成強化を図っていきます。

本年、建設長崎は組合結成六十五周年を迎えます。結成以来多くの困難を乗り越え、様々な運動を積み重ねてきました。その力を「組合結成六十五年の歴史を糧に、未来の活路を切り拓こう！」とメインスローガンに掲げ、組合員が固く団結し、新たな運動と組織の発展を成し遂げるために行動



青年部長 北村亮樹

者か倒産や廃業等で減少、熟練技能者若年技能後継者の不足と建設産業の疲弊と荒廃を招いており、魅力ある産業への転換が急務と言えます。

近年、住宅市場はリフォームの時代へと変化し、国は「量から質」への転換を図り、建設業界の環境もめまぐるしく変化を促しています。

本年、建設長崎は組合結成六十五周年を迎えます。結成以来多くの困難を乗り越え、様々な運動を積み重ねてきました。その力を「組合結成六十五年の歴史を糧に、未来の活路を切り拓こう！」とメインスローガンに掲げ、組合員が固く団結し、新たな運動と組織の発展を成し遂げるために行動



青年部長 北村亮樹

者か倒産や廃業等で減少、熟練技能者若年技能後継者の不足と建設産業の疲弊と荒廃を招いており、魅力ある産業への転換が急務と言えます。

近年、住宅市場はリフォームの時代へと変化し、国は「量から質」への転換を図り、建設業界の環境もめまぐるしく変化を促しています。

本年、建設長崎は組合結成六十五周年を迎えます。結成以来多くの困難を乗り越え、様々な運動を積み重ねてきました。その力を「組合結成六十五年の歴史を糧に、未来の活路を切り拓こう！」とメインスローガンに掲げ、組合員が固く団結し、新たな運動と組織の発展を成し遂げるために行動



青年部長 北村亮樹

者か倒産や廃業等で減少、熟練技能者若年技能後継者の不足と建設産業の疲弊と荒廃を招いており、魅力ある産業への転換が急務と言えます。

## 退任される本部役員の皆さん お疲れさまでした

前執行委員長 中村 一明さん (島原支部)

前執行委員 尾崎 由盛さん (西彼支部)

前執行委員 長野 末廣さん (東長崎支部)

前執行委員待遇 本田 勇さん (青年部×東長崎支部)

前執行委員待遇 荒木 恵子さん (主婦会×諫早支部)



退任される本部役員の皆さん

役職名	氏名	出身支部	職種	新着特別
執行委員長	相川 哲男	西彼	専従	再任
執行委員長	北村 政和	西彼	専従	再任
執行委員長	船津 栄市	市南	専従	再任
執行委員長	前田 三男	浦上西	専従	再任
執行委員長	工藤 是正	大浦	専従	再任
執行委員長	丸田 勉	大浦	専従	再任
執行委員長	高谷 義信	諫早	専従	再任
執行委員長	田上 一郎	浦上西	専従	再任
書記次長	石田 哲雄	浦上西	専従	再任
執行委員	佐藤 圭介	浦上東	専従	再任
執行委員	西平 博之	佐世保東	専従	再任
執行委員	内野 幸雄	中央	専従	再任
執行委員	坂口 忠義	中央	専従	再任
執行委員	田上 義高	大浦	専従	再任
執行委員	北村 五男	大浦	専従	再任
執行委員	山本 秀夫	大浦	専従	再任
執行委員	葛島 俊幸	大浦	専従	再任
執行委員	牧島 貢	大浦	専従	再任
執行委員	里 澄宏	東長崎	専従	再任
執行委員	古川 勝	東長崎	専従	再任
執行委員	村岡 広明	浦上西	専従	再任
執行委員	佐藤 昭彦	浦上西	専従	再任
執行委員	田中 秀則	浦上東	専従	再任
執行委員	森 政一	浦上東	専従	再任
執行委員	松林 満男	左官	専従	再任
執行委員	石橋 洸	西彼	専従	再任
執行委員	樋口 義雄	西彼	専従	再任
執行委員	田崎 義光	諫早	専従	再任
執行委員	伊藤 一廣	大浦	専従	再任
執行委員	福田 通	大浦	専従	再任
執行委員	木之田 隆	大浦	専従	再任
執行委員	山田 哲夫	島原	専従	再任
執行委員	塚本 芳美	島原	専従	再任
執行委員	末吉 重一	佐世保中央	専従	再任
執行委員	田中 清士	佐世保中央	専従	再任
執行委員	茅原喜志男	佐世保東	専従	再任
執行委員	長島 則行	佐世保東	専従	再任
執行委員	田中 秀幸	佐世保東	専従	再任
執行委員	小林 健治	佐世保北	専従	再任
執行委員	福田 栄治	佐世保北	専従	再任
執行委員	須藤 輝久	北松	専従	再任
執行委員	北村 久	北松	専従	再任
執行委員	寺田 孝弘	大浦	専従	再任
執行委員	岡田 眞	大浦	専従	再任
執行委員	植田 勝次	大浦	専従	再任
執行委員	木下 忠明	大浦	専従	再任
執行委員	柚元 美則	大浦	専従	再任
執行委員	澤山 敬子	大浦	専従	再任
特別執行委員	若杉 孝雄	浦上西	専従	再任
特別執行委員	北村 亮樹	浦上西	専従	再任
執行委員待遇	村上 昌也	諫早	青年部	再任
執行委員待遇	岡崎アイ子	諫早	青年部	再任
執行委員待遇	馬場ヒロ子	西彼	主婦会	再任
執行委員待遇	金子三智郎	中央	主婦会	再任
建設長崎顧問	前田 富雄			

# 第65回 定期大会に参加して



## 先を見越した運動の展開に期待



中央支部  
伊東 秀政  
毎回、淡々とした流れで進む大会ですが、同じ内容の議案に同じ質疑で、代わり映えがしない気がします。将来に不安が残らないように、ぜひ先を見越した運動の展開を期待したいと思います。

## 今後に担う青年部のために



大浦支部  
寺田 郁実  
久しぶりに大会に参加して、青年部からの意見が活発に出ていたのに驚きました。今後を担う青年部のために、ぜひもっと若い世代の意見を取り入れて頂きたいと思います。

## 組合活動に一致団結



市南支部  
小宮 清治  
していくために、参加されている方々が、組合の方針に対して非常に真剣に考え、いろいろな意見を持っているという事でした。特に分散会の中では、多くの質問がされ、積極的な議論が交わされ、有意義な大会だったと思います。建設長崎の組織は減少しておりますが、私たちの生活を守るため、様々な組合活動に一致団結して取り組みましょう。

## 青年部を思う意見に



東長崎支部  
野口 裕二  
支部の青年部長として大会に来るのは最後となりました。分散会で青年部の予算の話聞いて、組合員さんが青年部を育ててやりたいという意見があり、嬉しく思いました。

## 仲間のパワーと素晴らしい大会



浦上西支部  
山下 健二  
まれ雲仙のいい空気と森林の木匂いがとてもすがすがしかったです。久しぶりに、組合の仲間のいろんな意見を聞いてパワーと素晴らしい大会を感じました。今後も出来る限り組合活動に参加していこうと思います。

何年かぶりに大会に参加しました。天気にも恵

## いい体験になりました



浦上東支部  
松田 隆人  
今回初めての参加でしたが、組合の活動方針や決算・予算報告など、今まで漠然としていたものが良く解るようになりました。また、それらに対する皆さんの活発な質疑応答を見ることができていい体験になりました。

## 組合と深く向き合ったい機会



西彼支部  
村岡 渉  
初めてこの大会に参加したのですが、熱い意見の飛び交う大論争に驚かされました。皆さんの組合に対する姿勢に圧倒されながらも自分が深く向き合ったい機会になりました。

## できる限り組合活動に出席したい



諫早支部  
木村 英和  
今回初めて定期大会に来て組合活動の流れなどが分かりやすくなりました。これからできる限り組合活動などに出席したいと思います。

## 活発な討議で勉強になった



大村支部  
岩永 政勝  
今回、初めて大会に参加させて頂きました。二日間を通じて、各支部からの様々な意見や要望等を聞くことができたことは、大変有意義な勉強をさせて頂いたと思います。今後の組合活動に積極的に参加して、支部・分会活動を頑張っていきたいと思っています。

## 技術・技能の取組に力をいれてほしい



島原支部  
田中 努  
はじめて組合の大会に参加しました。組合も青年部も入ったばかりで、何もわかりませんでした。資格を取りたいと思っているので、技術・技能の取組に力をいれてほしいと思いました。

## 節目の大会に大感激



佐世保中央支部  
山下 詞郎  
今回大会に初めて参加して、丁度節目の六十五回ということ、大感激しました。まず、感じた事、組合員同士だけで初めて会うのに親近感を感じました。これも一つの結束力でしょうね。今後はもう少し多めに、組合活動に参加したいと思っております。

## 一丸となって頑張りましょう



佐世保東支部  
寺坂 好晴  
というスローガンの下、組合員の方々の死活問題に係る仕事と生活、組合員の一人として、熱心な協議、意見交換を前に身の引き締まる思いで感じました。組織の躍進と改革を願い、いかに無駄を省き活路を發展させるか、組合員の一人として協力しなければと思いましたが、六十五周年の歴史の糧が、お互いの理解と生活の本当の糧となるよう頑張りましょう。

## 参加して感じることに



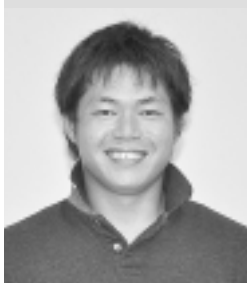
佐世保北支部  
倉富 保信  
毎年参加して感じることに、いつも同じように思います。組合員の近況は仕事がなく、収入が得られない今日です。そういった中、予算や活動など、見直してほしいと思いました。

## 手を取り合って頑張っていこう



北松支部  
川久保 豊  
剣になって思い思いの意見を出し合い大変良い勉強になりました。又、この不況の中で組合員の仲間が減少しつつあることは私にとっても少し寂しい気もしますが、こういう時こそ仕事確保の為に手を取り合って職場や家庭が明るくなるように皆さんと頑張っていこうと思います。

## とても勉強になった



平戸支部  
岡田 直人  
今回、建設長崎六十五周年定期大会に参加させて頂いただけでも勉強になりました。建設長崎がどのように成り立っているのかを学ぶことが出来ました。ただ初めて参加して聞かされた事、まだ数年後に機会がありましたら参加して、組合について勉強させてもらおうと思います。

## 二日間の経験を無駄にせず精一杯頑張りましょう



長建国保書記局  
丸林 加奈  
今回、初めて定期大会に参加させて頂いた。組合員の皆さんの意見を直に聞く事ができ、大変勉強になりました。この定期大会で、現在の建設業界のおかれている状況を更に痛感致しました。定期大会という二日間の貴重な経験を無駄にせず、組合員皆さんのお役に立てるよう精一杯頑張りましょう。どうぞ宜しくお願い致します。

# 様々な業界と連携し、仕事確保を

## (社)長崎県中小建設業協会第三十四回定期総会

(社)長崎県中小建設業協会(会員数 五四六名、会長 金子三智郎)は、平成二十二年七月二十三日(金)、長崎県市町村会館で、第三十四回定期総会を開き、平成二十一年度事業報告や、平成二十一年度事業計画等を全会一致で承認した。

また、役員改選も行われ、金子会長の続投を決めたほか、新たに副会長、理事、監事、幹事を選任した。

総会の冒頭のあいさつで、金子会長は、前年度住宅着工戸数の減少を挙げ、県内の住宅が、将来的には不足することも予測されている。

経済への波及効果が高い住宅建設戸数が伸びると、景気に刺激を与えるほか、地域活性化につながる。また、住宅リフォーム問題についても、われわれのよくな、街の住宅産業を支える中小零細業者にとっては、死活問題といってもいいような重要な課題であるので、引き続き要求していきたい。と述べました。

来賓として出席された長崎県土木部参事監 加藤永様は、県としては、雇用の場の不足もあり、県外への人口流出、地域活力の低下が懸念され、厳しい状況が続いている。

また、役員改選も行われ、金子会長の続投を決めたほか、新たに副会長、理事、監事、幹事を選任した。

総会の冒頭のあいさつで、金子会長は、前年度住宅着工戸数の減少を挙げ、県内の住宅が、将来的には不足することも予測されている。

経済への波及効果が高い住宅建設戸数が伸びると、景気に刺激を与えるほか、地域活性化につながる。また、住宅リフォーム問題についても、われわれのよくな、街の住宅産業を支える中小零細業者にとっては、死活問題といってもいいような重要な課題であるので、引き続き要求していきたい。と述べました。

来賓として出席された長崎県土木部参事監 加藤永様は、県としては、雇用の場の不足もあり、県外への人口流出、地域活力の低下が懸念され、厳しい状況が続いている。



平成二十一年度事業計画では、住宅版エコポイント制度の活用促進をはじめ、自治体への仕事確保、住宅リフォーム事業助成制度の創設、公契約法(条例)の制定、CM(コンストラクション・マネジメント)方式採用などを求めていくことが決定されました。

また、(社)長崎県建設業協会の谷村隆三 会長は、国の公共事業費の削減は、地方公共団体への影響も大きい。県が発注する工事は、地元業者を優先に進めてもらおうと、中小建設業協会と力を合わせ、共通テーマについては、連携して取り組んでいくことと協力を要請しました。

## 県議会だより

### 長崎県議会議員 金子三智郎

35

今年の広島の平和祈念式典に初めてアメリカの代表として、ルース駐日大使が出席しました。同様にイギリス、フランスも代表者を送りました。

アメリカ代表は大使館を

通じて「未来の世代のために、私たちは核兵器のない世界の実現を目指し、今後も協力していかなければならない」とのコメントを発表し、第二次世界大戦のすべての犠牲者に哀悼の意を表しました。

オバマ大統領の昨年四月のブラハ演説以降、核軍縮の機運が世界的に高まっております。今年度の式典には国連のパン・ギムン事務総長も初めて参加しました。

パン事務総長は被爆者や

遺族ら出席者が見守る中、原爆死没者慰霊碑に献花を行い、核廃絶の実現を呼びかけ、国連トップとして軍縮・不拡散を主導する決意を国際社会に対してアピールしました。

このように、六十五周年を迎える原爆忌に、初めて核保有国と国連を代表する事務総長が出席してきたことは、核を巡るオバマ大統領の考えが世界の核に対する考え方を交換させ、国際世論に大きな波として



押し寄せて来た結果と言えます。

八月九日の長崎の記念式典への出席は少々無理な状況にありますが、パン事務総長は広島に先立って長崎を訪問しており、近い将来長崎への式典の参加も実現すると思えます。

長崎では多くの被爆者の皆さんが後遺症に苦しんでいます。

また、同じように原爆の後遺症に悩まされながら、被爆者と認定されていない人達も沢山おられます。今認定を求める闘いも山場を迎えています。

このように問題を解決するため、とにも手を取ります。



建設長崎は毎年八月八日に原爆殉難者慰霊祭を原爆公園内の不戦平和の塔前で執り行っています。「平和な世の中でない」と建物は建たない「このことを基本に据え、今回の世界各国の動きを注視しましょう。」

# 平成22年度 建設長崎 大運動会

組合員家族慰安

## 開催のお知らせ

主催 長崎県建設産業労働組合

共催 長崎県建設事業国民健康保険組合  
長崎県建設技術専門学院本部  
(社)長崎県中小建設業協会

とき 平成22年10月17日(日) 午前10時開会

ところ 琴海北部グランド(長崎市琴海大平町)  
雨天の場合は中止

## 熱中症予防対策の徹底及びヘルメット着用の徹底のお願い

長崎労働局労働基準部 安全衛生課長

1メートルは一命取り?!  
- 脚立からの転落災害防止 -



**脚立からの転落死亡災害**  
長崎県内において、脚立(「うま」と呼ばれる踏み面のないものを含む。)からの転落死亡災害が発生しています。脚立からの、しかも2メートル未満の高さからの転落であっても、頭部・腹部・背部等への衝撃によっては、大変重い後遺症が残ったり、発生した災害のように死亡に至る場合があります。

**脚立作業にもヘルメットを**  
「ちょっとのぼって作業するだけ」と安易にならず、作業床の設置 安全帯(命綱)の着用を基本とし、やむをえず脚立を使用する場合には、安定度を保つこと(脚立を設置する床面は水平か、不同沈下はないか) ヘルメットを着用すること(ヘルメットのおごひもはきちんと締めているか) 踏み面は安全作業に必要な面積を有しているものを使用することなどを徹底しましょう。

長崎労働局安全衛生課 作成 平成21年6月

## 熱中症を根絶しよう!

ムリしない(させない)  
・「立ちくらみ」等の初期症状に注意

**健康状態に注意**

- 睡眠不足、前日等の飲酒、体調不良等
- 作業開始前・作業中の巡視により労働者の健康状態を確認
- 糖尿病、高血圧症等の基礎疾患を持つ者への配慮

**水分及び塩分の摂取**

- 作業前後、作業中の定期的な摂取
- 熱中飢、塩、梅干し等の摂取
- 水筒の持参

**暑さに適した服装等**

- 透湿性及び通気性の良い服装
- クールヘルメット、クールジャケット等の熱中症対策用品の使用

**背景等**  
熱中症による死亡者数が、全国で年間約20名を数え、また、休業4日以上の業務上疾病者数が年間300名にも上っております。

**対策**

- 作業環境管理
  - 休憩場所の整備等
  - WBGT値の低減等
- 作業管理
  - 作業時間の短縮等
  - 水分及び塩分の摂取
  - 服装等
  - 熱への順化
  - 作業中の巡視
- 健康管理
  - 健康診断結果に基づく対応等
  - 労働者の健康状態の確認
- 労働衛生教育
- 救急処置

「職場における熱中症予防対策マニュアル」  
<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/0906-1.html>  
長崎労働局安全衛生課 作成 平成22年7月



浦上東支部青年部では七月四日(日)の朝九時から「清掃奉仕活動」に取り組みました。

十九年の九月に第一回目を実施してから、今回で十五回目の取り組みとなるそうです。私は今年一月に組合に加入し、青年部の活動にも参加するようになったので、今回が初めての参加となりました。

支部事務所前である昭和町通りは、商店や食事処・酒処などが多い商店街のため、昼夜とも人の往来が多いところです。そのためか、

(立野)

### 大村支部

平成二十二年七月二十五日(日)大村湾で「アジ釣り大会」を行いました。竹松第一分会では毎年この時期に「タコ釣り大会」を行っています。この暑さの影響なのかタコが釣れないというので今年はアジを釣ろうということになりました。

### 竹松第一分会

竹松第一分会は大村支部きつての釣り好き・名人が揃っている分会で、その釣り名人たちの情報では西海橋付近がよく釣れているとのことでした。陽もまだ昇らない早朝時間に大村真島大橋に集合し大漁を期待して出港しました。そしてそ

### アジ釣り大会

の釣れるという西海橋方面にワクワクしながら向かいました。約四十分船を走らせて目的のポイントへ到着しました。期待を胸に仕掛けを投げたところ幾ら待っても釣れず、時間だけが過ぎていきました。既に太陽の日差しも厳しく、もうアジはいなくなつたのかと思つていたら皆の竿に徐々にヒットし始め、仕掛けに三匹四匹と同時に釣れはじめ最後は入れ食い状態でした。大漁に楽しく終わつた今年の「アジ釣り大会」。

分会長の富岡守さん、どうもお疲れ様でした。そして毎年分会のために船を出してくれている、別頭稔さん、松尾英雄さん、今年は特別に西大村分会から船を出してくれた笹浦満さん、どうもありがとうございました。

### 浦上東支部

青年部

### 事務所通りを清掃奉仕活動(通算15回目)



ペットボトルやコンビニ袋などが多く捨てられてます。特に多いのがタバコの吸殻(ポイ捨て)でした。

私モタバコを吸いますが、今後は、ポイ捨てはしないと断言します。早速、携帯灰皿を買つことにしました。また、ボランティアと名の付くものに参加したことはなく、興味もなかったのですが、青年部のみんなと支部事務所周辺の掃除をやつてみて、意外と楽しく汗を流す事が出来ました。(若杉一也)

《参加者》

- 松田 隆人 金子 嘉和
- 野口 耕平 北山 薫
- 田崎 順一 若杉 一也

(敬称略)

### 浦上西支部

主婦会

### 色とりどりの可愛い布ぞうり製作

ダンスに眠っているゆかたや着物を布ぞうりにリメイクしよう!!。そう考えたのが道の駅に飾ってあった小っちゃーな可愛い餅踏み用の布ぞうり。わらぞうりは見た事があるが、この可愛い色とりどりの模様の布ぞうりは、またたく間に私をとりこにしてしまつた。さて、どうして作るのやら。「ねえ!ぞうりの作り方知ってる?」「いや、作つた事なか...」

それから何ヶ月か過ぎ、支部旅行の折、この人なら何でも知っているだろうと思ひ、「山口さん!わらぞうりの作り方知ってますか?」と聞くと、「うん!昔か?」と聞くと、「うん!昔は作つちよつたばつてん、もう長く作つたらんけん自信なかなあ、あんた知らんねえ、松本さん!」「うん!!この前十足ばかり布ぞうりを頼まれて作つてやつた!!」と、とんとん拍子に話が進み、松本さんに教わる事になりました。何日かたった日曜日、我が家で栗原さんと一緒に手とり足とりに教わる事五時間あまり、解つたよつて解らない。四苦八苦しながら何回も何回もほめては作りほめては作りでやつと出来ました。

七月十三日支部主婦会で千羽鶴の糸通しを午前中で終え、午後より布ぞうりの製作(やつた!!無事終了)。松本さん本当にありがとうございました。

今では、主婦会の前田さんは五、六足は作られたとか。そして松川さんは、私達(道端さん・有川さん・私)の孫に踏み餅用のぞうりを作つて下さり本当に感謝しています。私モダンスに眠っている着物をせつせつせとほめて布ぞうりにリメイクしようと思つています。

継続は力なり!か?ふーん!! (山形マズ子)



### 支部だより



### 浦上西支部

城栄会夏祭り協賛住宅デー

### 恒例の夏まつりに協賛、奉仕活動

浦上西支部では、七月二十五日(日)、城栄会夏祭り協賛の住宅デー奉仕活動を行いました。

八時三十分支部集合後、会場の十八銀行城山支店駐車場に向かい準備、設置していたら早くも時間前に持ち込みが。

地元で馴染んだ行事になったのでは!!

支部長・金子卓議等の挨拶があり、作業スタート。しかし、ホント蒸し暑い事!!

組合員さんたちは汗だくになりながら、包丁百二十八本、まな板十五枚、その

(村岡広明)

他四本を仕上げました。今回はちょっと変わった持ち込み、将棋盤に「ハサミ」もあり、大工さん達にはこれぞ腕の見せ場!切れ味に仕上がりを確認し作業に励みました。

他職種の人達はティッシュ配り、主婦会は受け渡しと役割を分担し、お昼過ぎまで頑張りました。

しかし、肝心の仕事確保となる住宅相談がなかったのは、次への課題ではと思つた一日でした。

暑い中の皆さん、協力ありがとうございました。

(山形マズ子)

《参加者》

- 前田 三男
- 古川 三男
- 村岡 広明
- 佐藤 昭彦
- 山口 好行
- 井上 義満
- 松浦 学
- 山形 信
- 道端 敏章
- 山下 健二
- 松崎 拓海
- 小峰 香夫
- 前川 友一
- 宮崎 二郎
- 道端ナミ子
- 栗原由理子
- 山形マズ子
- 松川波留子
- 有川ヤツ子
- 前田千代美
- 相川委員長
- 北村副委員長
- 金子卓議
- 田上書記長
- 石田書記次長

### 中央支部

日見分会住宅デー

### 仕事確保に住宅器具を展示

雲行き怪しく蒸し暑い八月一日(日)、中央支部日見分会では組合員・主婦会合わせて二十四の参加で、芋塚公民館において住宅デーを開催しました。

今年、前段の委員会の中で青年部より「少しでも仕事確保に結びつくように住宅器具等を展示しては?」という意見があり、支部長の要請で長建木材から、IHヒーターやオートロック、火災報知機等」を出品していただき宣伝を行っていただきました。

しかし、残念ながら暑さのせいで出足が鈍つたのか、はたまた長崎みなと祭りに客足をとられたせいも、前日のチラシ配布や当日の街宣活動も極端な効果は見られずに客足は思つたより伸びませんでした。地域住民への宣伝活動は十分できたと思ひます。(大賀)



《参加者》(順不同 敬称略)

- 田森 勝 馬渡 正幸 樋口須磨子
- 内野 幸雄 川原 龜喜 馬渡ヒロ子
- 西村 忠光 太田 俊一 大町きみ子
- 樋口 正人 山本 孝義 金子喜久枝
- 石橋 廣喜 伊東 秀政 山下 廣造
- 宇土 満 手水 鐵吉 若杉 重信
- 大町 誠 馬場ヒロ子 本田 元
- 林 次夫 川原 幸枝 相川委員長